

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 490

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東1階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ鷹の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



今年も仕事頑張るぞ

あさやけ作業所



サングリーン 縫製・石鹸

■作業の説明
サングリーンの作業の状況を説明します。コロナ禍で焼き菓子販売の機会が減少してはいますが、一方でマスク製造など新たな作業をやったり、既存のふきんやせつけん製造、ダイレクトメール作業、昼食づくり、市報配達などは変わらず行っています。机についたてを置きコロナ対策をしながらの作業です。

■仲間の抱負
今年もコロナでマスク着用などが必要であります。その中で、ダイレクトメールやせつけんスポンジなどの作業もしています。決意としては、もっと早く、うまくダイレクトメールを出来

が、利用者の皆さんは元気に通所されています。仕事があることとの大切さを改めて実感しています。今年も体に気をつけながら皆で元気に働きたいと思えます。

山中 武

るようになりまして、皆さんと仲良く作業に取り組みればよいと思います。来年にはコロナがなくなりますように、そうならば幸いです。もう少し稼ぎたいです。



あさやけ作業所 しろくま班/廃品回収

公民館、地域の小売店、事務所などへ車で出向き、段ボールや雑紙、牛乳パックなどを中心に回収活動を行っている。班の方針として、「なるべく全員が何らかの仕事に関われるように」を掲げているため、室内で仕事に向くことができないメンバーを中心に行動するようにしている。また、「地域との関わりを持つ」という目的もありメンバーが顔を見せると「また来たな」「今日も頼むね」と声掛けなどを通じたつながりがある。

Q ..回収で何が楽しいですか？
麻生..段ボール運ぶのが楽しい。野口..昔リヤカーを押してました。その時に佐藤利和さんと一緒に運んだのが楽しかった。

Q ..今年、頑張りたいことはありますか？

麻生..今年も牛乳パックを運ぶのを頑張ります。
野口..一日で回収に午前と午後の二回行きたいです。

あさやけ作業所 こあら班/ふきんづくり

奈良県産の国産かや地を使用したふきんを生産しています。生地を八枚に重ねて折り五本ミシン掛けを行ったあとに、ふちをインターロックミシンで一周縫い完成品としています。その他にもインターロックミシンの糸を切ったり、ふきを折ったりなど全ての工程でメンバーがかかわっています。近隣のお店に協力をいただき、商品を置かせてもらっているため、納品にもメンバーとともに行っています。納品に行くことでお店の方との交流を持ちたり、商品を売る」ということを意識したりしています。

■抱負
風邪をひかないように、体調を

崩さないようにして過ごします。
長島 清美
ますます仕事をがんばりたい。
矢島 春香
丑年の今年、年女の二人の抱負でした。また、八名全員そろって「仕事をがんばる。ふきん縫いをがんばる。」とやる気を語ってくれました。



新春のお慶びを申し上げます

本年も地域でゆたかな労働と生活の場をめざして活動を続けてまいります

2021年 元旦
社会福祉法人ときわ会
理事長 加藤寛二





織りと染めをメインに日々作業をしています。織りは冬に向けて八月ごろから織り始めます。今年度は織り手が一人増え、四人で織りを進めました。丁寧に織るよう心がけており、それぞれ全く違う仕上がりで、どれも魅力的なものばかりです。糸は、作業所で煮出した染料で染めた糸を使用していますが、最近は今までにない新しい染料で染められるようになったことで様々な色が増え、マフラーのバリエーションが豊富となりました。

■抱負
織りの作業と、袋に絵を描く作業と刺し子、ブローチなど作りたいです。マフラーは長いのも短いのも織りたいです。マスク作りもして、ひも通し作業をしたいです。仕事を頑張って、たくさん販売してポータスをもらせるように頑張ります。

浅野 貴子



利用者が一人一台パソコンを持ち、自分に合ったスタイルで仕事をしています。これまで専用のソフトを使用して会報誌や資料の編集、冊子の編集、入力作業などに力をいれてきました。最近では新たにキーホルダー作りを始め、オリジナルイラストを使用したキーホルダーや、お客様の写真を加工したキーホルダーを作るなど仕事の幅を広げています。写真の加工や修正も行っており、幅広いニーズに応えられるよう努力を重ねています。

■抱負
みんなでキーホルダーをパンパン売って、授産会計に貢献するために頑張ります。普段の仕事を一人一人が頑張っていることを願っています。

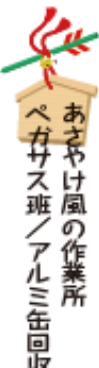
柳原 昭三



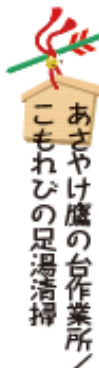
毎月第一・第四木曜日に小川町一丁目の一部地域をリヤカー二台でアルミ缶回収に伺っています。事前に回収日をお知らせするチラシを配り、地域の方々にお会いした時には「いつもご苦労様。がんばってね。」とお声がけいたいただくことで励みになっています。こうした活動で地域と繋がりを持つことで、春と冬に開催している作業所主催のミニバザーではたくさんのお客様にお越し頂いています。

■抱負
ダイレクトメールと空き缶回収がんばるぞ!

坂本 徹



毎週木曜日はこもれびの足湯の清掃を行っています。六名のメンバーが作業所から歩いて五分ほどの現場に向かい、浴槽のブラッシング、高圧洗浄機、テーブルや椅子を拭く、サンダルを洗うなどして一週間分の汚れを落とします。森に囲まれた場所なので天気の良い日は気持ちがいいのですが夏の暑い日、雪の日、大雨の日でも必ず清掃はあり体力と責任感が必要な仕事でもあります。厳しさのある仕事ですが十名が清掃メンバーを希望し交代で参加しています。



「いい匂いだね」「おいしそうだね!」甘いチョコの香りが漂いみんなにっこり。二月まで期間限定でブラウニー作りをして、好評ですぐに売り切れてしまう日もありました。寒くなりましたが、年末にかけてご注文を頂くことも多く途絶えることなく、忙しくも充実した日々を過ごす事ができました。

■抱負
今年はカラオケやスポーツなど楽しい事を沢山したい。

岩田 ななみ
大槻 智美



主に定期刊行物や広告など紙媒体の発送作業を請け負っています。あて先は個人や会社など様々です。ハガキにラベルを貼るまでの時もあれば、封筒に十数点のパレットの内容順番を揃えて封入することもあり確認しながら進めています。作業班のメンバーは決められた納期に応えるべく検品や封筒など様々な工程に関わり工賃を目指して働いています。

■抱負
昨年なかったポータスが出たらゲームを買いたい。個人的には仕事をなるべく早く終わらせるようにしたいです。目標は就職することです。とにかくがんばって仕事して行きましょう。仕事って楽しいので、やり遂げた感があるものだから

原 太



「コロナウイルスに絶対に負けないこと」「夏の暑さに負けないこと」「継続は力なり(カフェの仕事が続ける)」(永田直孝) 昨年からお仕事がおぼえられなかったカフェで働きはじめていないので、お仕事のながいを、おぼえられるようにがんばりたいです。(K・N) 今年もコロナに負けず頑張る仕事に行きます! (S・Y) 今年新しい業務にも挑戦して年取アップの年でもあります。初心の気持ちで、感謝の言葉を忘れずに望んでいきたいと考えています。(J・T) 今年中にカフェの仕事を一通り覚える。(N・N)

■作業の説明
私が、カフェでどんな仕事をしているのかというと、入ったばかりの頃は、皿洗いとドリンク作りを作れるようになるのが、最初のステップとして覚える事です。その後、調理やレジ、接客などの希望に応じた仕事を覚えるのですが、私はまかないでメニューの料理を作ってレシピを覚えるようにしています。(N・N)

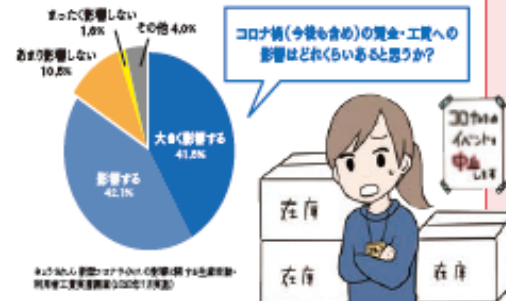
■写真の説明
月一回のカフェミーティング。餃子の皮を使ってみんなで「ハロウィンおぼけ」を作っています。ご提供メニューにトッピングをしました。好評でした。



1. コロナ禍でも、障害のある人が安心して生活できるように

イ 生産活動が減収になった事業所で働く障害のある人に、国として工賃の補償を

きょうさんの調査では、コロナの影響で7割以上の事業所で生産活動が減収となり、約6割の事業所で障害のある人の工賃を減額せざるを得ない状況がわかりました。今後も影響が続くため、国として工賃の補償を求めています。



ウ 日額払い制度をあらためて、安定した事業運営ができるように

現在、事業所への報酬(公費)は、1日ごとの利用者数によって決まる日額払いです。コロナの感染不安や体調不良で利用者が減ると、報酬減となってしまいます。以前のような月額払いに戻し、安定した運営を保障すべきです。

エ 労働条件を改善して、福祉に携わる人が安心して働き続けられるように

福祉現場の支援者は、感染の不安を抱えながらも、障害のある人たちを支えるために感染対策を講じながら支援を続けてきました。しかしながら、福祉現場で働く人の給与は、一般労働者の平均賃金と比べると約10万円も低い状況です。福祉の仕事が長く続けられるように、報酬(公費)を引き上げるべきです。

オ 国の責任のもとで、地域活動支援センターへの対策を

生産・創作活動、交流の機会を提供し、障害のある人たちにとって欠かせない存在となっている「地域活動支援センター」。その運営は市町村に委ねられているため運営費は低く、自治体間格差もひろがっています。コロナ関連の助成・取扱い等の対象から外れていることも多いため、他事業所と同様に国として対策を講じることを求めています。

2. 優生保護法で被害にあった人たちの人権回復と、徹底した調査を

「不良女子の出生を防止する」ために、1996年まで続いた優生保護法により、強制不妊手術や人工妊娠中絶を受けさせられた障害のある人がたくさんいます。2020年10月現在、全国7地裁・2高裁で25人の原告が裁判をたたかっています。国は、2019年4月に「一時金支給法」をつくりましたが、内容は不十分な点が多く、被害にあった人たちの人権回復にふさわしい法律にあらためる必要があります。この法律の中には、国が優生手術等についての調査をすることが規定されているため、被害者の立場に立った検証を求めています。

3. 65歳を超えても、必要な支援を自ら選んで利用できるように

障害者総合支援法では、65歳あるいは特定疾病になると、障害福祉サービスよりも介護保険を優先して使わなければならないと定められています。障害のある人は、介護保険に移行するとそれまで使っていた支援が使えなくなったり、新たに利用料を負担しなければならなくなったりします。65歳になっても、本人の希望にそって必要な支援を選んで利用できることを求めています。



仲間紹介

ひとりひとりが太陽

おいしいスコーンづくりに挑戦



山上 広美さん (あさやけ風の作業所)



「山上さん」と呼ぶことも明るく「はいー」と返事をしてくれます。

広美さんの作業所での仕事はこすもす班でのパン作りや製菓を作る事です。パン作りでは主に卵の計量や、ぬるま湯の計量を担当しています。

捏ねる作業も最初のうちは手に沢山ついてしまい「うわあー」と、言っていたのですが今はだいぶ手の平でしっかりと捏ねられるようになり日々上手になってきています。

他にはスコーン切りをしたり並べたり、ケーキ類を作る時はミキサーをとでも上手に使います。広美さんは製菓学校に行っていたのですが、器用だなと思う事が一緒に働いている中でとても多いです。

こすもす班はパンやお菓子作りの他にも具材を細かく切ったり、パンの下に敷く紙の準備、お菓子を入れる袋にシールを貼る作業など細かい作業が盛り沢山です。広美さんは持ち前の器用さを活かしている中、とても多いですね。

色々な事にチャレンジしてみたい広美さん、「自信がないな」と言う時もあります。これから様々な作業に挑戦したい経験を重ねてほしいなと思います。そして広美さんの自信に繋がっていくよう応援していきたいと思えます。

「ご本人からの一言「いろいろなものごと」に挑戦していきたいです」

週三日来ている広美さんですがあまり関わる事が少ない作業でも周りのみんなに教えてもらったり職員に聞いたりしながら「いろんな作業をもっと覚えたい」と、やる気満々。歌を唄う事や絵を描く事も得意な広美さん。

歌は「天城越え」や「女々しくて」など演歌からポップスまで幅広く知っているのが広美さんですが歌の迫力は外見からは想像できないくらいすごくてびっくりした事があります。

障害福祉についての制度の拡充を求めて

きょうされん 第44次

国会請願署名・募金運動 全国キャンペーン

2020年12月～2021年4月

署名・募金にご協力ください

募金のお願い いただいた募金は、本キャンペーンを展開するための費用や、当会が運動するための活動資金として有効に活用させていただきます。

わたしたちは「きょうされん」です

当会は、旧称を「共同作業所全国連絡会」と言い、障害のある人たちが「働く・活動する」事業所をはじめ、グループホーム、相談支援センターなど、1,870か所を超える事業所が会員となっています。
わたしたちは、障害のある人たちの暮らしをゆたかにするための制度の拡充を求め、活動を続けています。

1. コロナ禍でも、障害のある人が安心して生活できるように

ア 医療体制を拡充し、障害のある人や支援者のいのち・健康が守れるように

障害のある人たちは、新型コロナウイルスに感染すると重症化するリスクが高いです。障害のある人や支援者がPCR検査を受けやすくとともに、感染した際も安心して医療が受けられるような体制づくりを求めています。



写真提供：左から左へ、共同作業所全国連絡会、共同作業所全国連絡会、共同作業所全国連絡会、共同作業所全国連絡会、共同作業所全国連絡会、共同作業所全国連絡会、共同作業所全国連絡会、共同作業所全国連絡会、共同作業所全国連絡会、共同作業所全国連絡会

社会福祉法人ときわ会の各事業所では国会請願署名に取り組んでいます。地域の各団体への協力お願いや廃品回収の時等に署名用紙を配布させていただいていますので、署名活動にご協力をお願いします。また、個人でご協力くださる場合はご連絡いただければ郵送等でお届けいたします。7ページにも請願項目の説明の続きを掲載していますのでご覧ください。

廃品回収のお知らせ

12月の廃品回収の回収量は8,620kgでした。内訳は新聞6,060kg、雑誌・ダンボール2,560kgです。収益は81,926円でした。

次回は2月20日（土）が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。